

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年 4月 5日

【評価実施概要】

事業所番号	1270300807		
法人名	株式会社ニチハイ		
事業所名	グループホーム サロンドグリーン長沼原		
所在地	千葉県千葉市稲毛区長沼原町161-1 (電話) 043-286-2015		
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成21年 3月31日	評価確定日	平成21年4月23日

【情報提供票より】(平成21年 3月10日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年 3月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 10 人, 非常勤 8 人, 常勤換算 8.4 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り	
	1 階建ての	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷金	有() 円 無()		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 120,000 円 無()	有りの場合 償却の有無	有() 無()
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,500 円

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	17 名	男性 5 名	女性 12 名
要介護1	4 名	要介護2	9 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 81 歳	最低 68 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ちぐさ会クリニック
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅と畑の広がるのどかな環境の中、「サロンドグリーン長沼原」がある。広い駐車場や芝生の敷かれた庭があり、開放的な施設となっている。ウッドデッキも設置され、庭や畑に自由に入出入りでき、入居者が気軽に外の空気を楽しむ事ができるようになっている。施設内は全面バリアフリーとなっており、十分な介助スペースが確保され、入居者の安全面に配慮した造りとなっている。入居者の希望に応じたレクリエーションや音楽療法等が実施され、入居者の生活の活性化を図っていると共に、家族・近隣住民・ボランティア・保育園児等の来訪があり、入居者は様々な人とのふれあいを楽しんでいる。職員全員が話し合い作り上げた理念を基に、入居者の笑顔ある生活が送れるよう、家庭的なサービスの提供に努めている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価において、終末期に向けた体制作り・災害時における地域との協力体制・自己評価への取り組みが改善課題として挙げた。終末期に向けた体制については、家族に説明を行うと共に、終末期の意向を聞き、改善を図っている。災害時における協力体制については、運営推進会議を通じて協力の呼びかけを行い、地域との協力体制の構築を進めている。自己評価においては、職員全員で作成を行えるよう取り組みを検討している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価においては、管理者と一部の職員にて話し合い作成している。作成後は、職員全員に回覧している。外部評価実施にあたり、職員会議の議題に上げ、説明を行い、職員全員が外部評価の意義を理解している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回、民生委員・地域包括支援センター職員・家族代表・職員等を構成員として開催している。会議では、施設活動の報告を行い、施設の地域理解促進を図ると共に、意見・情報交換等を行い、サービスの質の向上を図っている。また、災害対策について話し合いを行ない、地域に対して、災害時の協力を呼びかけている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>意見箱及び苦情・相談窓口を設置していると共に、家族の面会時や電話連絡時に直接意見・要望等を確認している。挙げた意見・要望においては、職員会議にて周知・検討し、適切な対応に努めている。検討後は、家族に対して説明・報告をすると同時に、検討結果を玄関に掲示し、周知している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域住民とは、散歩時に挨拶を交わす関係が築かれていると共に、地域行事への参加やボランティアの来訪が行われ、地域交流を図っている。自治会に加入しており、回覧板に施設の案内や情報等を載せてもらい、協力を得ている。地域の保育園の園児の来訪が頻繁にあり、世代間交流を図っている。また、地域住民の介護相談の受付や子供110番に加入をしており、地域貢献にも努めている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で話し合い、「あなたらしさを守る・出来る事を大切にする・いつも笑顔のあるホームを目指す」を主眼とした独自の理念を作り上げている。また、「個人個人を尊重したオーダーメイドの介護」を軸とした運営方針を掲げ、家庭的なサービスの提供に努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内に理念を掲示すると共に、運営推進会議にて説明を行い、施設に関わる方々に理念の周知を行なっている。職員に対しては、会議等で理念の確認を行っている。また、職員自身が迷った時には理念に立ち返るよう指導している。家族に対しては、契約時や面会時等にて理念の説明・確認を行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域住民とは、散歩時に挨拶を交わす関係が築かれていると共に、地域行事への参加やボランティアの来訪が行われ、地域交流を図っている。自治会に加入しており、回覧板に施設の案内や情報等を載せてもらい、協力を得ている。地域の保育園の園児の来訪が頻繁にあり、世代間交流を図っている。また、地域住民の介護相談の受付や子供110番に加入をしており、地域貢献にも努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価結果においては、誰でも閲覧できるよう事業所内に設置している。前回外部評価において挙げた反省点においては、職員会議で検討し、少しずつ改善を進めている。自己評価においては、管理者と一部の職員にて話し合い作成している。作成後は、職員全員に回覧している。外部評価実施にあたり、職員会議の議題に上げ、説明を行い、職員全員が外部評価の意義を理解している。		自己評価の作成において、管理者は一般職員からより多くの意見を引き出すと共に、一般職員は積極的に意見を出す事で、職員全員が自己評価の作成に関わり、より多くの気付きを得た上でサービスの質の向上に繋げて頂く事を望みます。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回、民生委員・地域包括支援センター職員・家族代表・職員等を構成員として開催している。会議では、施設活動の報告を行い、施設の地域理解促進を図ると共に、意見・情報交換等を行い、サービスの質の向上を図っている。また、災害対策について話し合いを行ない、地域に対して、災害時の協力を呼びかけている。		

【千葉県】グループホーム サロンドグリーン長沼原

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	施設長が千葉市グループホーム協会の役員を務めており、協会を通じて市職員と密に意見・情報交換等を行なっている。また、施設運営全般に関する相談・連絡等を随時行ない、連携を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時や毎月の手紙にて入居者の生活状況や金銭管理等の報告を行なっている。入居者の写真やレク作品を個別のアルバムに保管し、詳細に報告ができるよう工夫している。また、希望により個別の連絡帳を作成し、職員と家族が意見・情報交換を行っている。入居者の生活状況に変化のあった場合や必要時には随時電話にて連絡を行なっている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱及び苦情・相談窓口を設置していると共に、家族の面会時や電話連絡時に直接意見・要望を確認している。挙げた意見・要望においては、職員会議にて周知・検討し、適切な対応に努めている。検討後は、家族に対して説明・報告をすると同時に、検討結果を玄関に掲示し、周知している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の顔写真と名前を、各ユニットのロビーに掲示して紹介している。入職があった場合には、慣れた職員が付いて一緒に業務を行い、入居者とコミュニケーションが取れるよう配慮し、早く馴染みの関係が築けるよう努めている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修や千葉市グループホーム協会にて行なわれる勉強会には、職員の希望に応じて参加をしている。研修参加後は報告会や資料の回覧をし、職員全員が情報を共有している。入職者に対して、新人研修を実施すると共に、定期的に会議にて内部研修を実施しており、適切な人材の育成に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設長が千葉市グループホーム協会の役員を務めており、協会の会議を通じて意見・情報交換等を行い、交流を図ると共に、協会主催の勉強会が開かれており、相互の質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>随時見学を実施していると共に、希望に応じて体験入居も実施しており、施設の雰囲気や方針を理解してもらってからの入居を勧めている。入居後は職員が手厚く付き添い、不安な気持ちを軽減し、安心した生活が送れるよう支援している。また、面会や電話等にて、家族の協力を得ながら、出来るだけ早く施設に馴染めるよう努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>施設では「共同生活」という意識を強く持ち、入居者の希望や能力に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。職員は入居者を人生の先輩として敬い、歴史や生活の知恵を学んでいると共に、入居者からの労いの言葉や気遣いに、癒しややりがいを得ており、共に支え合う関係を築いている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時の面談にて、本人・家族から意向や生活歴等を確認している。また、日々の生活の中で確認した意向や身体状況等を職員会議にて周知していると共に、定期的に基本情報表を更新しており、常に新しい情報・ニーズを職員全員が共有している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、本人や家族の意向を踏まえた上で、職員会議にて話し合い、計画作成担当者が作成している。計画作成後は職員全員に周知徹底を図ると共に、家族に説明を行い了承を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>6ヶ月に1回介護計画の見直しを行うと共に、毎月、会議にて目標の達成状況の確認及び評価を行い、必要に応じて見直しを行なっている。見直しにおいては、職員会議にて話し合い、計画作成担当者が介護計画の作成を行なっている。また、見直しの際に、入居者の基本情報表を更新し、常に新しい意向・ニーズを把握しており、現状に即した介護計画の作成に取り組んでいる。家族の面会時や電話連絡時に、随時意向の確認を行なっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の希望に応じて、買い物や外出等を行っており、柔軟な支援が行なわれている。また、訪問理美容を実施し、身だしなみの支援も行なわれている。入居者の入院時には、お見舞いに行き、医師と情報交換をしながら、出来るだけ早い退院を支援している。地域の保育園と相互に行き来する関係が築かれており、世代間交流が図られている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院以外にも、希望の掛かりつけ医への受診が可能となると共に、定期的に内科往診を実施し、適切な医療支援が行なわれている。また、希望により訪問歯科・訪問リハビリを実施し、口腔ケアや身体機能の維持・向上を支援している。担当医師と密に連絡を取り合う関係を築いており、適切な医療支援・健康管理に向けた連携を行なっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期における施設の方針を説明すると共に、家族の意向を確認している。重度化した場合には、家族・医師・職員で話し合い、本人や家族の意向に沿った終末期を支援している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の書類等については、事務所で保管し個人情報の保護を図っている。日常業務において、接遇マナーの指導を随時行ない、申し送りの方法や言葉遣いに気を配り、入居者のプライバシーを損ねないように配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課を大まかに定めているが、本人の希望や生活ペースに合わせて、自由な生活を支援している。希望を言い出せない入居者に対しては、希望を言いやすい環境作りに努めると共に、日々の観察や会話の中から希望を汲み取り、一人ひとりに合わせた柔軟な支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の希望や能力に応じて、調理や片付け等を共同で行っている。食材は配食サービスを利用し、栄養バランスに配慮した食事提供に努めている。また、外食会の実施や行事にて特別食の提供を行なうと共に、月2回のフリーメニューや献立の掲示等、職員と入居者が食事の楽しみを共有できる取り組みが行なわれている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	浴室は暖房が完備されていると共に、広くて明るい造りとなっている。また、脱衣所にはベンチやトイレが設置され、入居者が使いやすいよう工夫されている。入浴は毎日実施されており、希望に応じて回数等、柔軟に支援している。足浴機の活用や清拭の実施にて、清潔保持を図っている。入浴拒否のあった場合には、声掛けやタイミングの工夫により、快適な入浴を支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の希望に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。日々のレクリエーションは入居者の希望に応じて、歌・体操等柔軟に支援している。また、編み物・菜園作り・作品作り等、入居者の能力や趣味を活かした活動を支援している。定期的に行事を企画・実施していると共に、保育園児やボランティアの訪問等が実施され、入居者の楽しみ事や気晴らしを支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望や体調に応じて、散歩や買い物等の外出支援を行っている。広い芝生の庭やウッドデッキで、日光浴・お茶飲みを実施して気軽に外の空気を楽しめるよう支援している。また、定期的な外出会や外食会が実施され、戸外での楽しみを支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の施錠を行わず、入居者の自由な生活を支援している。また、庭の出入り口も施錠せず、自由に庭やウッドデッキへ出る事が可能となっている。入居者が外に出た場合は、無理に引き止めず声掛けや見守りで柔軟に対応している。居室の鍵は入居者からの希望で設置され、プライバシーの保護に配慮している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防機器の会社や消防署の協力のもと、年2回、消防・避難訓練を実施していると共に、緊急時・災害時マニュアルを作成しており、緊急時・災害時における対策を身に付けている。また、運営推進会議にて、地域に対して災害時における協力の呼びかけを行なっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の嗜好や能力に合わせた適切な食事提供がなされていると共に、食事や水分の摂取量を記録している。摂取量が少ない場合には、好みの物や間食、栄養補助食品等に対応し、必要な栄養の確保に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内は全面バリアフリーとなっており、玄関・廊下・トイレ等十分な介助スペースが確保され、入居者の安全面に配慮した設計となっている。また、大きな窓や天窓により、日当たりもよく、とても明るい造りとなっている。共有スペースには、季節に合わせた飾り付けや行事写真が掲示されており、楽しい雰囲気作りがなされている。リビングには、ソファやテーブルが設置され、入居者が思い思いにくつろぐ事が可能となっていると共に、調理用のテーブルと椅子が用意されており、共に食事の準備が出来るよう工夫されている。ウッドデッキや広い庭へ自由に出入りする事が可能となっており、お茶飲みや日なたぼっこ等を実施し、外の空気を気軽に楽しめるようになっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の希望に応じて、馴染みの物を自由に持ち込む事が可能となっており、入居者が安心して居心地良く暮らせるよう配慮している。また、希望に応じて、畳を敷いたり、布団・ベッドが選択する事が可能となっており、生活歴に合わせた支援を行なっている。全居室にエアコンが設置され、適切な空調管理が行なわれていると共に、ナースコールが設置されており、入居者の安全面に配慮している。その他にも、鍵や洗面台が設置されており、入居者のプライバシーに配慮している。		